

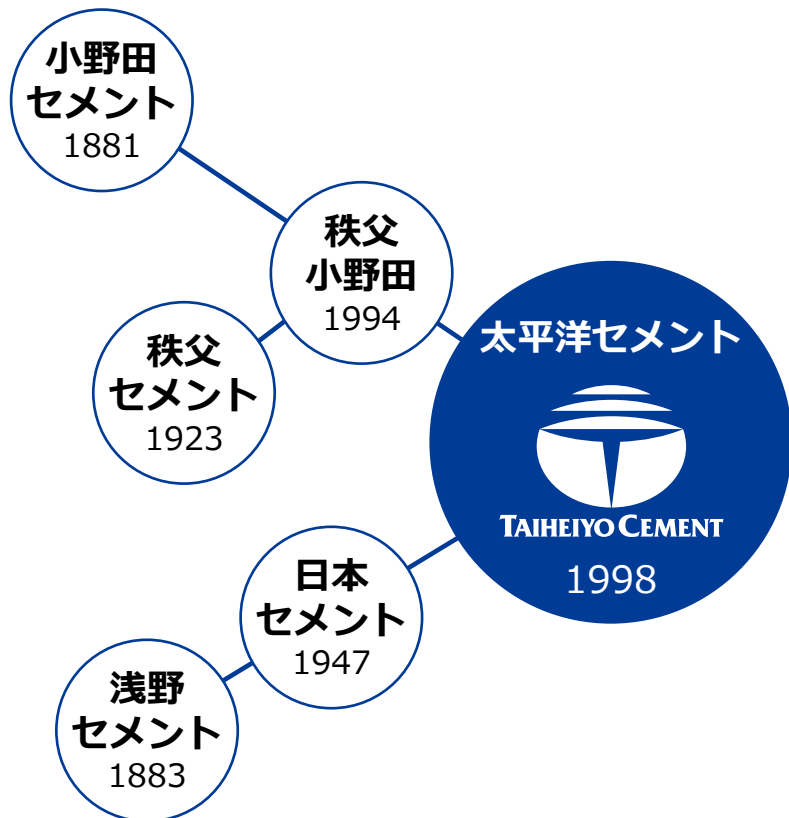


# 2025年度決算説明資料

---

2026年5月12日

太平洋セメント株式会社



## グループ経営理念

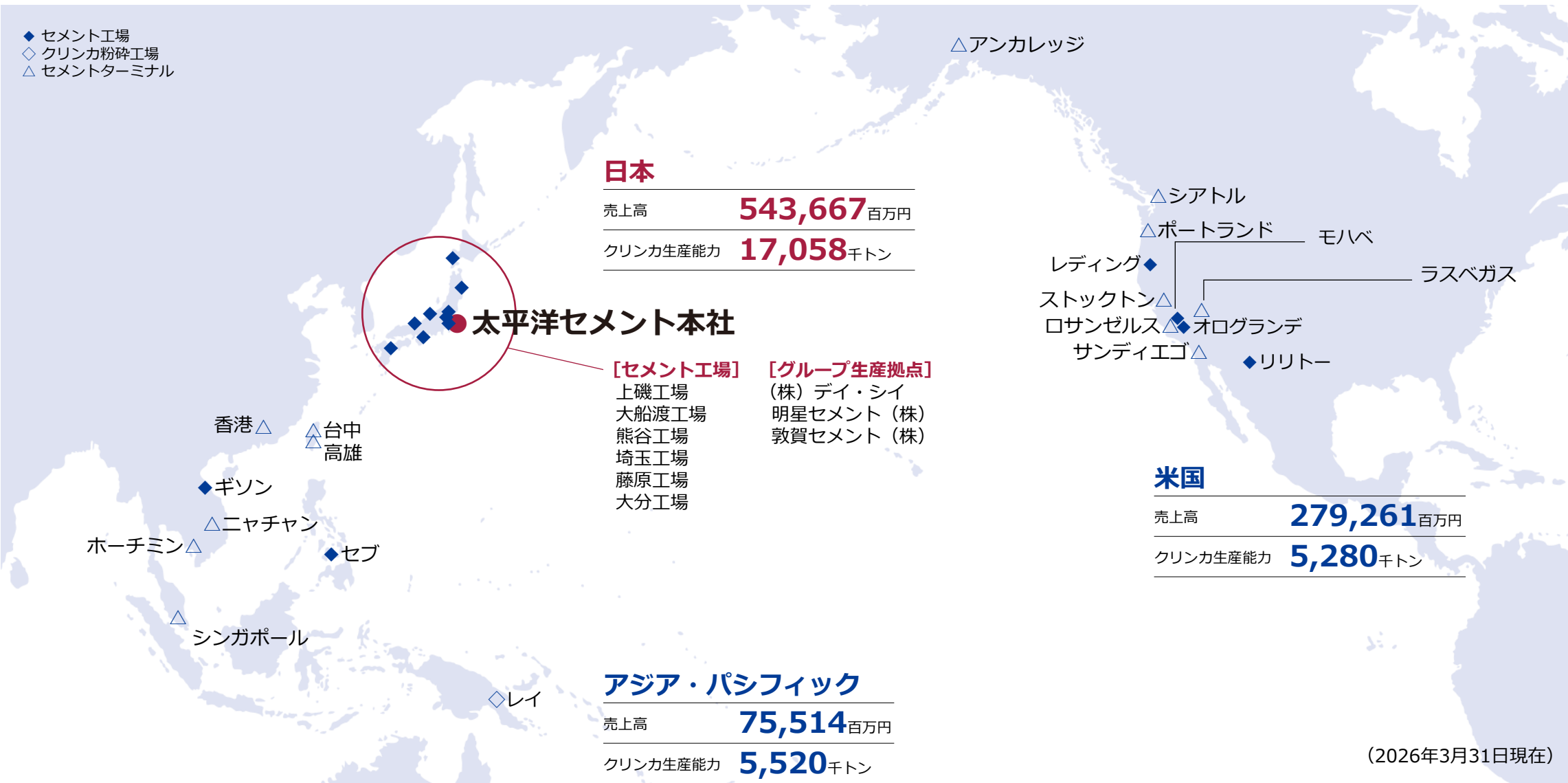
太平洋セメントグループは、  
持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、  
経済の発展のみならず、  
環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行います。

設立	1881年5月3日
資本金	86,174百万円
本社所在地	〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー
従業員数	連結：12,626名 単体：1,783名（出向含まず）
子会社	197社（うち連結子会社 128社、持分法適用非連結子会社 5社）
関連会社	103社（うち持分法適用関連会社 36社）

（2026年3月31日現在）

# 進出地域

- ◆ セメント工場
- ◇ クリンカ粉砕工場
- △ セメントターミナル



(2026年3月31日現在)

<b>1. 連結決算ハイライト</b>	<b>P.5</b>	<b>4. 株主還元</b>	<b>P.23</b>
<b>2. 2025年度実績</b>	<b>P.9</b>	<b>Appendix (参考資料)</b>	<b>P.25</b>
(1) セグメント情報	P.10		
(2) 連結損益計算書	P.14		
(3) 連結貸借対照表	P.15		
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P.16		
<b>3. 2026年度業績予想</b>	<b>P.17</b>		
(1) 連結損益計算書	P.19		
(2) セグメント情報	P.20		

---

# 1. 連結決算ハイライト

# 1. 連結決算ハイライト

## 《決算サマリ》

- ▶ 国内セメントは、値上げ効果・原価改善により営業利益増
- ▶ 海外子会社等で営業利益減
- ▶ フィリピン子会社減損損失の計上もあり、当期純利益減
- ▶ 配当は、予定通り100円/株を実施予定

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	増減
売上高	896,295	<b>898,441</b>	+2,147
営業利益	77,750	<b>74,620</b>	▲3,130
経常利益	75,374	<b>75,087</b>	▲287
親会社株主に帰属する当期純利益	57,428	<b>25,401</b>	▲32,027
1株当たり配当（円/株）	80	<b>100</b>	+20

# 1. 連結決算ハイライト

## 《主な指標》

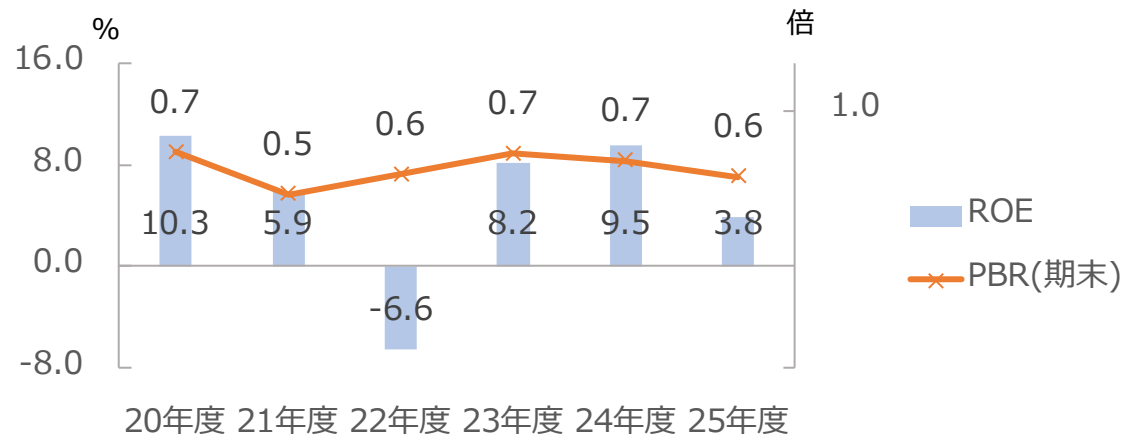
	2024年度	2025年度	増減
売上高営業利益率 (%)	8.7	<b>8.3</b>	▲0.4
1株当たり当期純利益 (円)	502.5	<b>227.9</b>	▲274.6
1株当たり純資産 (円)	5,758.9	<b>6,098.1</b>	+339.3
ROE (自己資本当期純利益率) (%)	9.5	<b>3.8</b>	▲5.7
ROIC (投下資本利益率) (%)	5.4	<b>4.9</b>	▲0.5
自己資本比率 (%)	45.1	<b>46.0</b>	+0.9
ネットDEレシオ (倍)	0.49	<b>0.48</b>	▲0.01

## 《環境要因》

	2024年度	2025年度	増減
為替平均レート (円/\$)	151.7	<b>149.6</b>	▲2.1
国内輸入石炭等調達価格 (C&F \$/t)	150	<b>130</b>	▲20

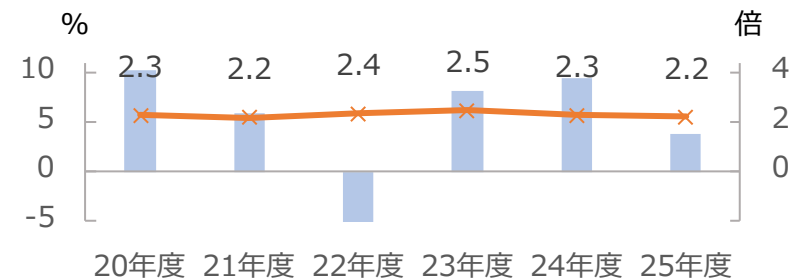
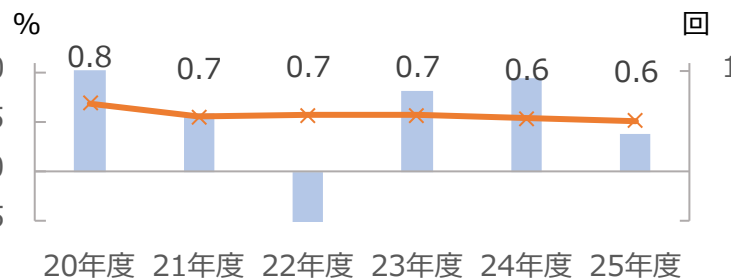
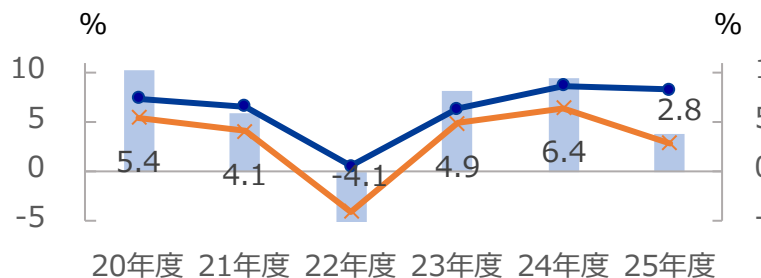
# 1. 連結決算ハイライト

## ROE(%)とPBR(倍)の推移



## ROE分解

ROE = 売上高純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ



■ ROE × 売上高純利益率 ● 売上高営業利益率

■ ROE × 総資産回転率

■ ROE × 財務レバレッジ

---

## 2. 2025年度実績

## 2. 2025年度実績

### (1) セグメント情報

(単位：百万円)

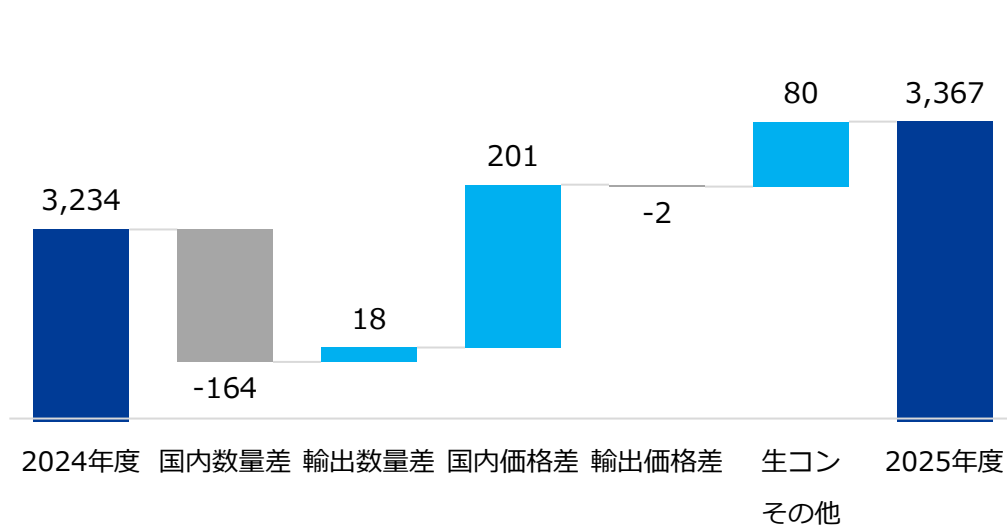
		売上高			営業利益		
		2024年度	2025年度	増減	2024年度	2025年度	増減
セメント	国内	323,358	<b>336,697</b>	+13,340	16,056	<b>27,977</b>	+11,921
	海外子会社等	344,796	<b>331,213</b>	▲13,584	38,370	<b>21,355</b>	▲17,014
	計	668,154	<b>667,910</b>	▲244	54,426	<b>49,332</b>	▲5,094
資源		88,246	<b>90,855</b>	+2,608	9,616	<b>10,045</b>	+429
環境		80,866	<b>81,782</b>	+916	8,972	<b>9,262</b>	+290
建材・建築土木		44,300	<b>43,427</b>	▲873	2,363	<b>1,891</b>	▲472
その他		78,592	<b>80,519</b>	+1,926	3,935	<b>4,193</b>	+258
計		960,158	<b>964,493</b>	+4,335	79,312	<b>74,723</b>	▲4,589
内部消去		▲63,863	<b>▲66,052</b>	▲2,188	▲1,563	<b>▲103</b>	+1,459
連結		896,295	<b>898,441</b>	+2,147	77,750	<b>74,620</b>	▲3,130

## 2. 2025年度実績

### ①セメント国内

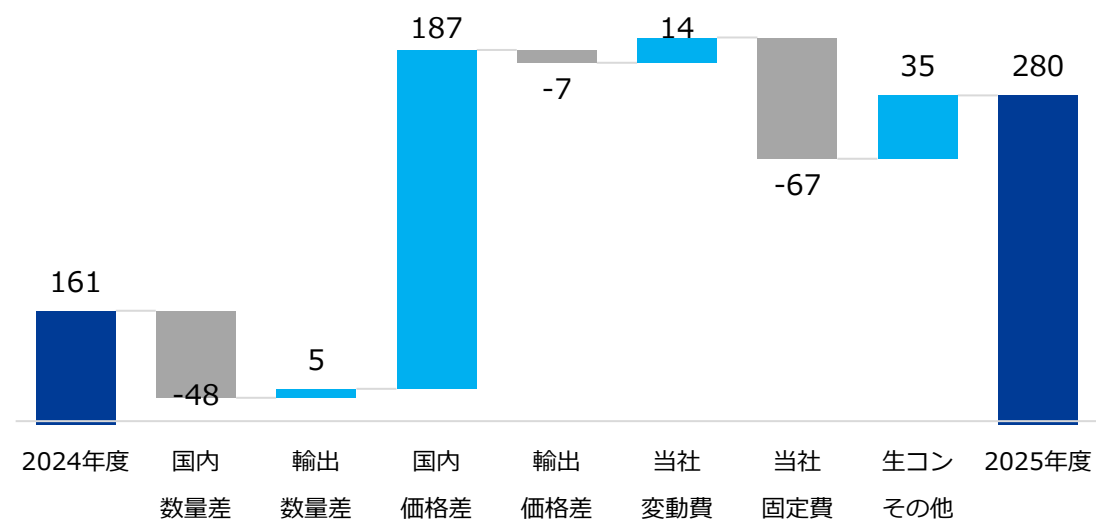
	2024年度	2025年度	増減
販売数量 (千t)			
国内	12,329	<b>11,173</b>	▲1,156
輸出	3,025	<b>3,320</b>	+295
売上高 (百万円)	323,358	<b>336,697</b>	+13,340
営業利益 (百万円)	16,056	<b>27,977</b>	+11,921

#### 売上高 (億円)



- 生コン協同組合の週休二日制導入拡大に伴う出荷数量減、熱中症対策や天候不順等による現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売数量も減少。
- 販売数量減の中、セメント・固化材の販売価格の値上げ、原価改善により、営業利益増。

#### 営業利益 (億円)



## 2. 2025年度実績

### ②海外子会社等 《米国》

	2024年度	2025年度	増減
セメント (千t)	6,123	<b>5,888</b>	▲235
生コン (千cy)	5,479	<b>4,722</b>	▲757
骨材 (千t)	11,512	<b>12,246</b>	+734
売上高 (億円)	2,976	<b>2,825</b>	▲151
(百万\$)	(1,962)	(1,888)	(▲73)
営業利益 (億円)	410	<b>267</b>	▲143
(百万\$)	(270)	(178)	(▲92)

- 需要は悪天候及び金利高止まりに伴う民間部門の減速等の影響を受けた。
- 需要減に伴いセメント・生コンの販売数量は減少、値上げやコスト削減に取り組んだが減益。
- 骨材事業は買収効果により販売数量増。

### 《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2024年度	2025年度	増減
セメント (千t)	6,669	<b>7,289</b>	+620
売上高 (億円)	534	<b>549</b>	+15
営業利益 (億円)	▲12	<b>▲37</b>	▲25

- (ベトナム) 堅調な国内需要を背景に前年並の利益を確保。
- (フィリピン) 安価な輸入品の流入継続による売価下落等の要因により損益悪化。収益改善の取組継続。

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 ▲63 億円 営業利益 ▲4 億円

## 2. 2025年度実績

### ③資源、環境事業、建材・建築土木、その他

(単位：百万円)

		2024年度	2025年度	増減	主要な増減内容（純増減）
資源	売上高	88,246	<b>90,855</b>	+2,608	骨材及び鋳産品が販売数量減となった一方、固化不溶化材は販売数量増。各種コストアップ分の販売価格への転嫁が浸透
	営業利益	9,616	<b>10,045</b>	+429	
環境	売上高	80,866	<b>81,782</b>	+916	石炭の埠頭中継業務や汚泥処理は伸び悩んだものの、リニア建設発生土の埠頭中継業務や石炭灰処理が堅調に推移した
	営業利益	8,972	<b>9,262</b>	+290	
建材・ 建築土木	売上高	44,300	<b>43,427</b>	▲873	ALC（軽量気泡コンクリート）及び建築・土木材料の販売が低調に推移したことに加え、運賃や人件費等の各種コストアップの影響を受けた
	営業利益	2,363	<b>1,891</b>	▲472	
その他	売上高	78,592	<b>80,519</b>	+1,926	
	営業利益	3,935	<b>4,193</b>	+258	

## 2. 2025年度実績

### (2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	増減
売上高	896,295	<b>898,441</b>	+2,147
営業利益	77,750	<b>74,620</b>	▲3,130
営業外損益	▲2,376	<b>467</b>	+2,843
経常利益	75,374	<b>75,087</b>	▲287
特別損益	▲753	<b>▲30,560</b>	▲29,807
税金等調整前当期純利益	74,621	<b>44,527</b>	▲30,094
法人税等	15,809	<b>17,633</b>	+1,824
非支配株主に帰属する当期純利益	1,384	<b>1,493</b>	+109
親会社株主に帰属する当期純利益	57,428	<b>25,401</b>	▲32,027

## 2. 2025年度実績

### (3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2025年 3月末	2026年 3月末	増減			2025年 3月末	2026年 3月末	増減	
流動資産	現金及び預金	74,987	<b>63,719</b>	▲11,268	負債	流動負債	388,354	<b>416,902</b>	+28,548	
	受取手形、売掛金及び契約資産	180,544	<b>186,473</b>	+5,929		固定負債	359,217	<b>349,922</b>	▲9,295	
	棚卸資産	127,846	<b>137,238</b>	+9,392		<b>負債合計</b>		747,571	<b>766,824</b>	+19,253
	その他	22,354	<b>25,171</b>	+2,817	純資産	株主資本	資本金	86,174	<b>86,174</b>	-
<b>流動資産 計</b>		405,731	<b>412,601</b>	+6,870			資本剰余金	50,288	<b>49,493</b>	▲795
固定資産	有形固定資産	738,702	<b>749,158</b>	+10,455			利益剰余金	417,460	<b>432,913</b>	+15,453
	無形固定資産	47,015	<b>43,516</b>	▲3,499			自己株式	▲22,131	<b>▲21,516</b>	+615
	投資その他の資産	232,248	<b>273,787</b>	+41,540		<b>株主資本合計</b>		531,791	<b>547,064</b>	+15,273
<b>固定資産 計</b>		1,017,965	<b>1,066,461</b>	+48,496		その他の包括利益累計額	109,879	<b>133,505</b>	+23,626	
<b>資産合計</b>		1,423,695	<b>1,479,061</b>	+55,366	非支配株主持分	34,455	<b>31,668</b>	▲2,786		
					<b>純資産合計</b>		676,124	<b>712,237</b>	+36,113	
					<b>負債純資産合計</b>		1,423,695	<b>1,479,061</b>	+55,366	

	2024年 12月末	2025年 12月末	増減
(為替) 期末レート (円/\$)	158.2	<b>156.6</b>	▲1.6

	2025年 3月末	2026年 3月末	増減
有利子負債 (百万円)	389,688	<b>389,767</b>	+79

# 2025年度実績

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	増減
営業キャッシュ・フロー*	117,874	<b>114,205</b>	▲3,669
投資キャッシュ・フロー	▲106,528	<b>▲98,645</b>	+7,883
フリー・キャッシュ・フロー	11,346	<b>15,560</b>	+4,214
財務キャッシュ・フロー	▲20,611	<b>▲26,761</b>	▲6,150
*うち、減価償却費・のれん償却費	60,917	<b>70,550</b>	+9,633

---

## 3. 2026年度 業績予想

### 3. 2026年度 業績予想

#### 《前提条件》

- 2026年度業績予想の前提は以下の通り

	2025年度実績	2026年度予想	増減
セメント国内需要 (万t)	3,053	<b>2,900</b>	<b>▲153</b>
国内輸入石炭等平均調達価格 (C&F \$/t)	130	<b>155</b>	<b>+25</b>
為替平均レート (円/\$)	149.6	<b>157.0</b>	<b>+7.4</b>

(感応度 営業利益影響額：為替が1円円安で+0.3億円)

#### 《業績予想サマリ》

- 中東情勢影響は当年度通期に渡ると想定
- 対前期比増収増益を見込む
- 国内セメント事業は、トクヤマ社からの営業権譲受影響を下期から取り込み販売数量増加を見込むが、固定費増加の影響があり増収減益
- 米国は生コン事業買収効果を下期から取り込み、フィリピンの業績改善を見込み、海外子会社等で増収増益

### 3. 2026年度 業績予想

#### (1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2025年度実績	2026年度予想	増減
売上高	8,984	<b>10,270</b>	+1,286
営業利益	746	<b>760</b>	+14
営業外損益	5	<b>▲60</b>	▲65
経常利益	751	<b>700</b>	▲51
特別損益	▲306	<b>▲50</b>	+256
税金等調整前当期純利益	445	<b>650</b>	+205
法人税等	176	<b>155</b>	▲21
非支配株主に帰属する当期純利益	15	<b>15</b>	+0
親会社株主に帰属する当期純利益	254	<b>480</b>	+226

### 3. 2026年度 業績予想

#### (2) セグメント情報

(単位：億円)

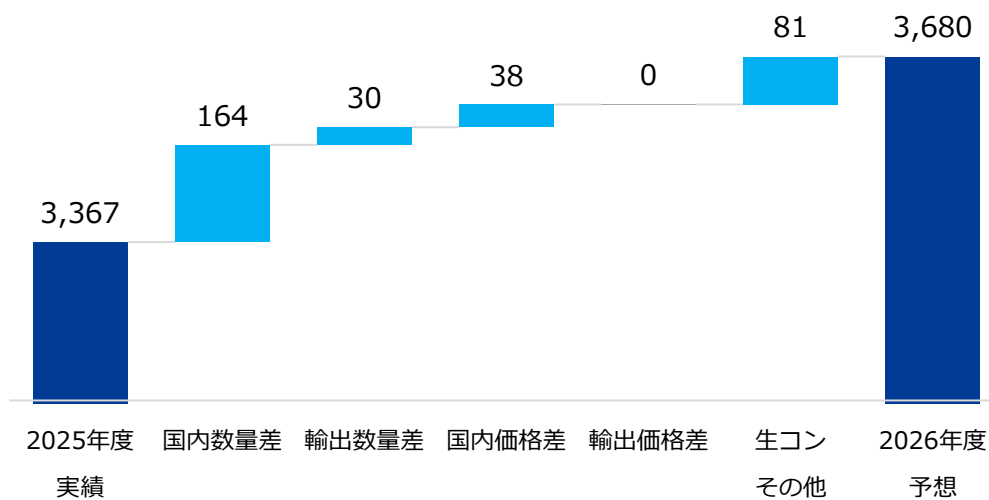
		売上高			営業利益		
		2025年度 実績	2026年度 予想	増減	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
セメント	国内	3,367	<b>3,680</b>	+313	280	<b>170</b>	▲110
	海外子会社等	3,312	<b>3,970</b>	+658	214	<b>317</b>	+103
	計	6,679	<b>7,650</b>	+971	493	<b>487</b>	▲6
資源		909	<b>960</b>	+51	100	<b>106</b>	+6
環境		818	<b>920</b>	+102	93	<b>104</b>	+11
建材・建築土木		434	<b>470</b>	+36	19	<b>19</b>	+0
その他		805	<b>970</b>	+165	42	<b>46</b>	+4
計		9,645	<b>10,970</b>	+1,325	747	<b>762</b>	+15
内部消去		▲661	<b>▲700</b>	▲39	▲1	<b>▲2</b>	▲1
連結		8,984	<b>10,270</b>	+1,286	746	<b>760</b>	+14

### 3. 2026年度 業績予想

#### ①セメント国内

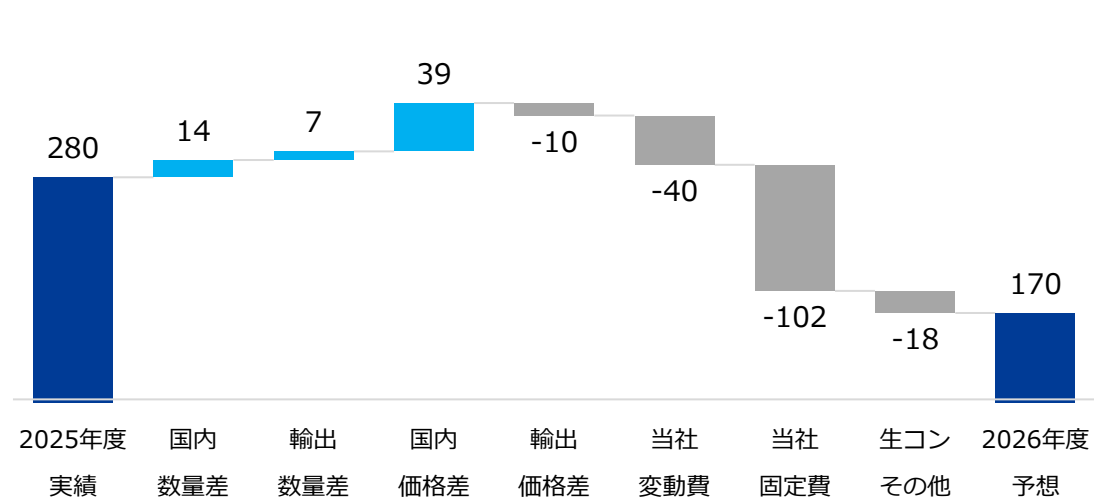
	2025年度実績	2026年度予想	増減
販売数量 (千t)			
国内	11,173	<b>11,800</b>	+627
輸出	3,320	<b>3,800</b>	+480
売上高 (億円)	3,367	<b>3,680</b>	+313
営業利益 (億円)	280	<b>170</b>	▲110

売上高 (億円)



- 国の防衛関係工事や能登の復興需要など新たな需要も見込まれる一方、労務費や資材コスト上昇傾向に加え、生コン協同組合の週休二日制導入が更に進むと見込まれ国内需要減少。
- トクヤマ社からの営業権譲受による数量増を見込むが、中東情勢の影響によるコスト上昇、固定費増加により営業利益減。

営業利益 (億円)



### 3. 2026年度 業績予想

#### ②海外子会社等 《米国》

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
セメント (千t)	5,888	<b>5,937</b>	+49
生コン (千cy)	4,722	<b>6,401</b>	+1,679
骨材 (千t)	12,246	<b>12,187</b>	▲59
売上高 (億円)	2,825	<b>3,403</b>	+578
(百万\$)	(1,888)	(2,168)	(+279)
営業利益 (億円)	267	<b>326</b>	+60
(百万\$)	(178)	(208)	(+30)

- 需要は、金利高止まりや中東情勢を受け不透明な要素があり、本格的な需要回復は2027年度以降と見込む。
- セメント・骨材の販売数量は前期並み、値上げやコスト削減に取り組む。
- 生コン事業は下期から買収効果により販売数量増、増収増益を見込む。

#### 《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
セメント (千t)	7,289	<b>7,674</b>	+385
売上高 (億円)	549	<b>600</b>	+51
営業利益 (億円)	▲37	<b>10</b>	+47

- (ベトナム) 堅調な国内需要を背景とした国内販売数量増に加え、中東情勢の影響等によるコストアップについては価格転嫁に取り組む。
- (フィリピン) 売価の改善とコスト削減の取り組み徹底に加え、減価償却費の減少により損益改善を見込む。中東情勢の影響によるコストアップについても価格転嫁による取組を継続する。

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 +178 億円 営業利益 +16 億円

---

## 4. 株主還元

## 4. 株主還元

- 2025年度は、20円増の100円/株（中間配当50円/株含む）予定
- 2026年度は、20円増の120円/株（中間配当60円/株含む）を計画
- 26中計3年間の総還元性向は、44.8%を見込む

### 《26中計株主還元方針》

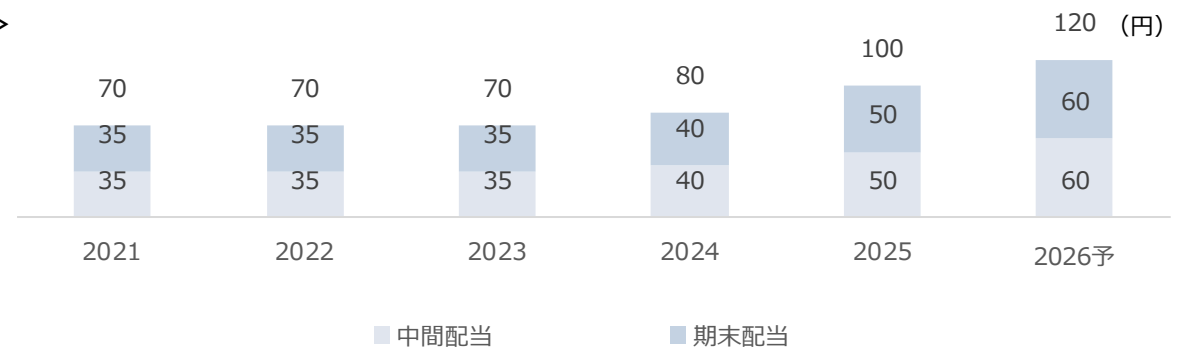
総還元性向 33%以上

安定配当の継続

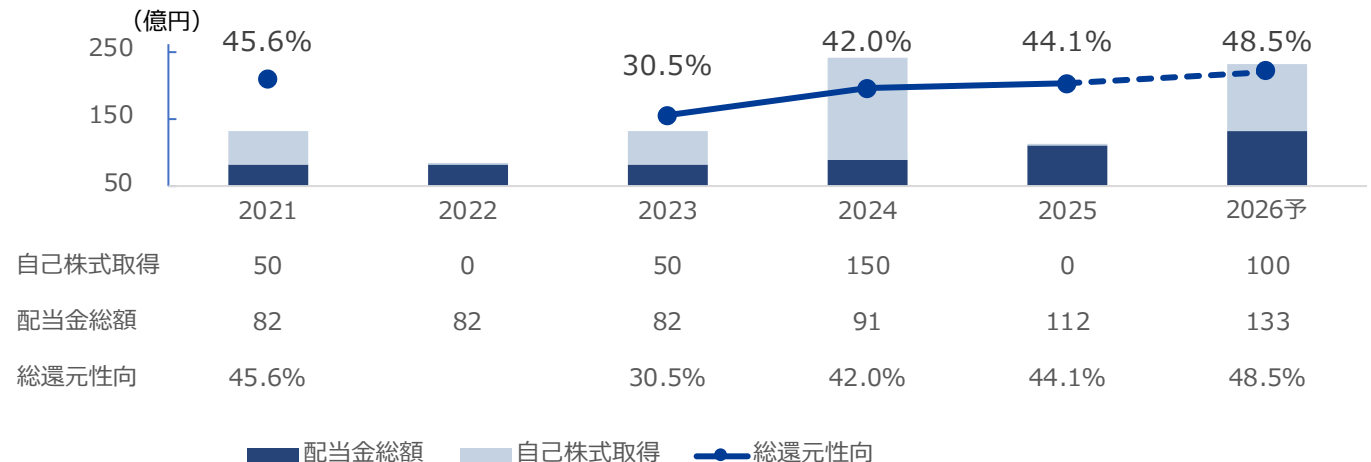
1株当たりの配当額 80円以上

機動的な自己株式の取得

#### <配当>



#### <総還元>

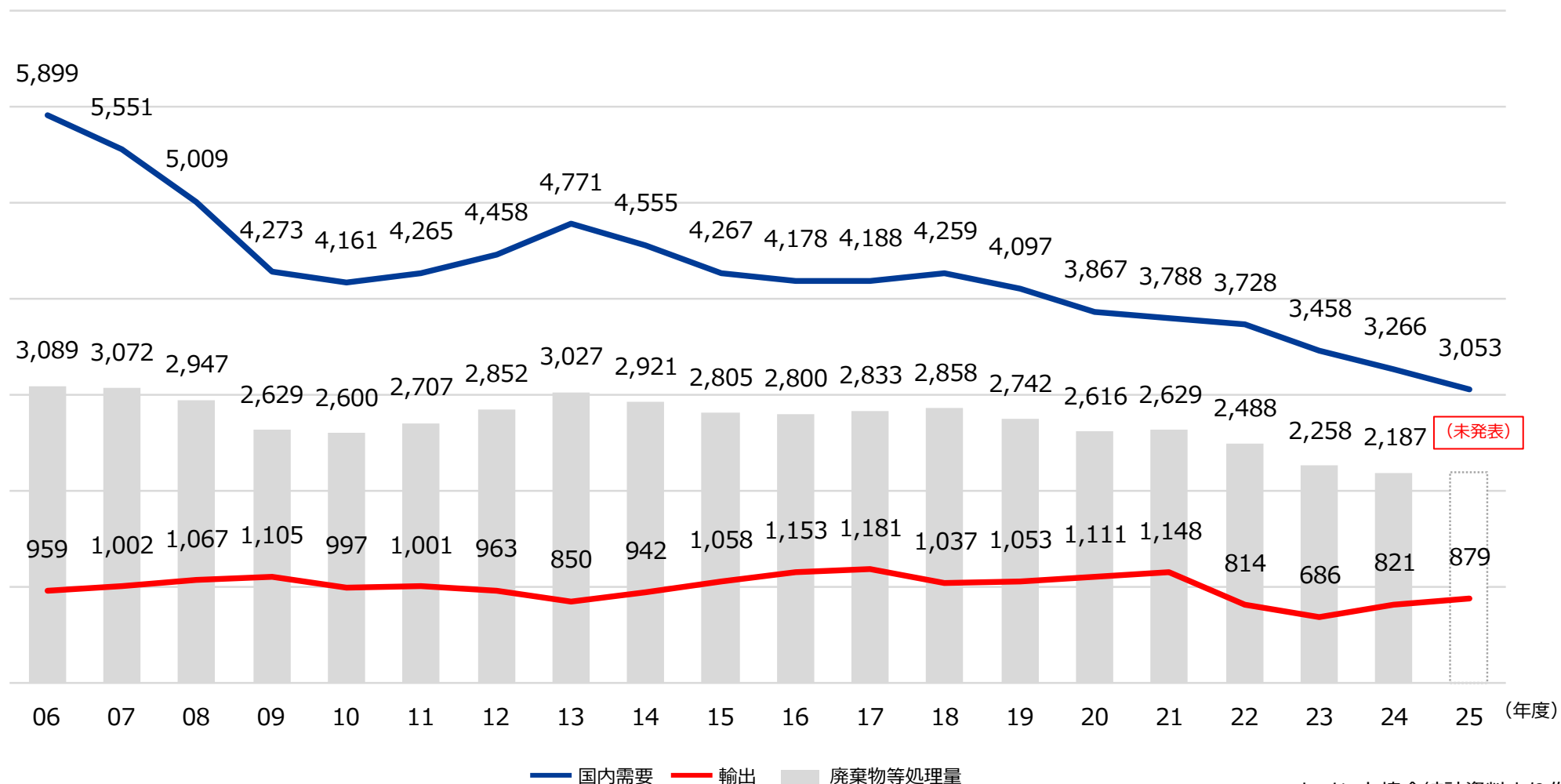


---

# Appendix (参考資料)

# 《参考》セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量

セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量（万t）

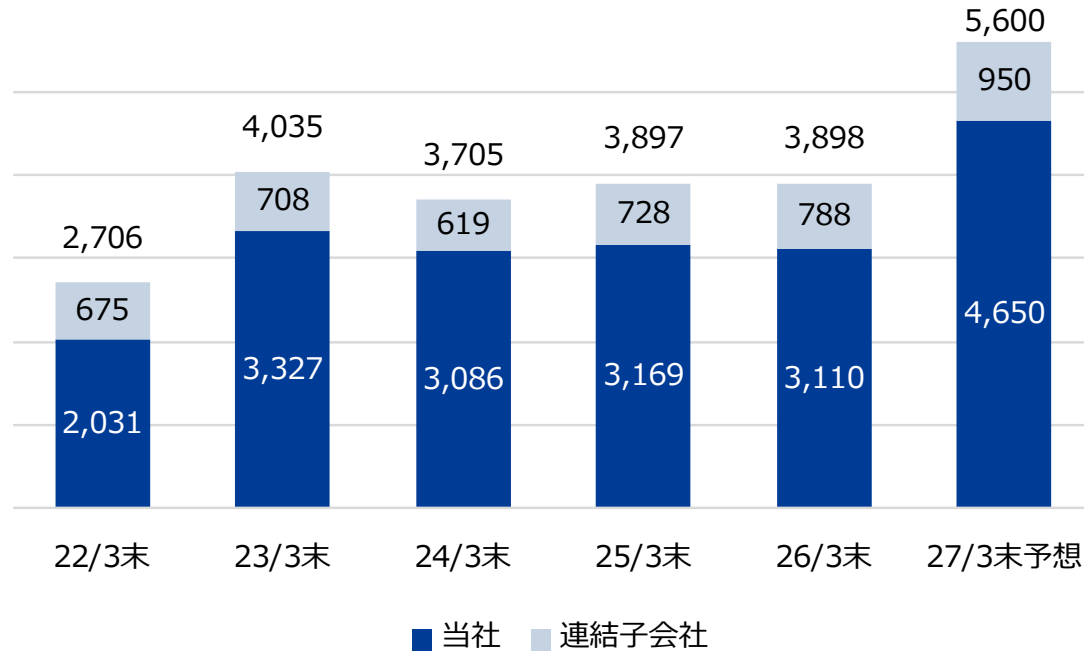


セメント協会統計資料より作成

# 推移データ

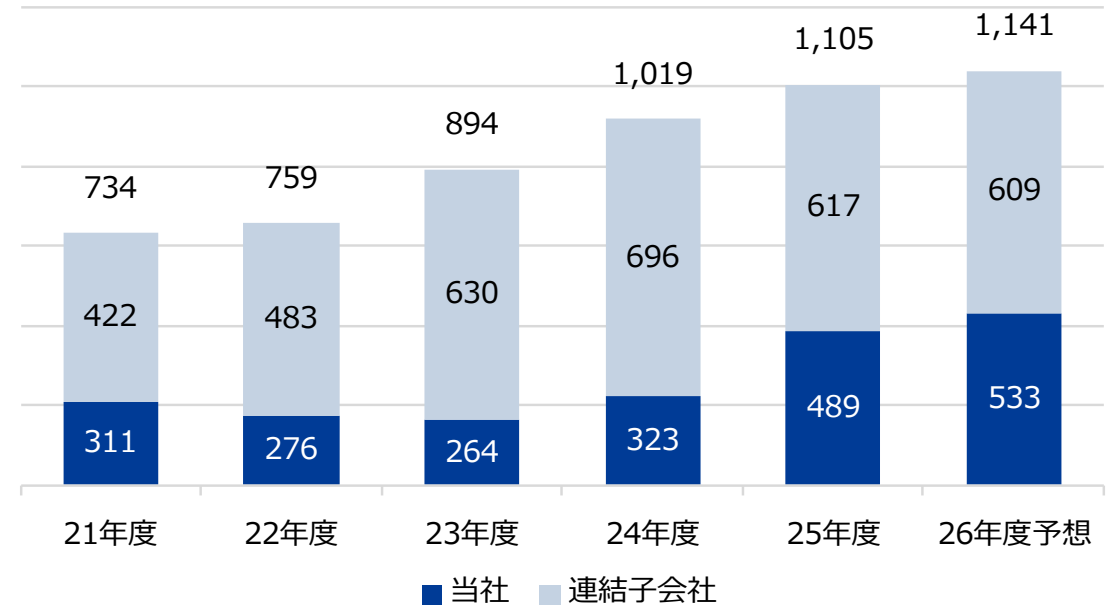
## (1) 有利子負債

(単位：億円)



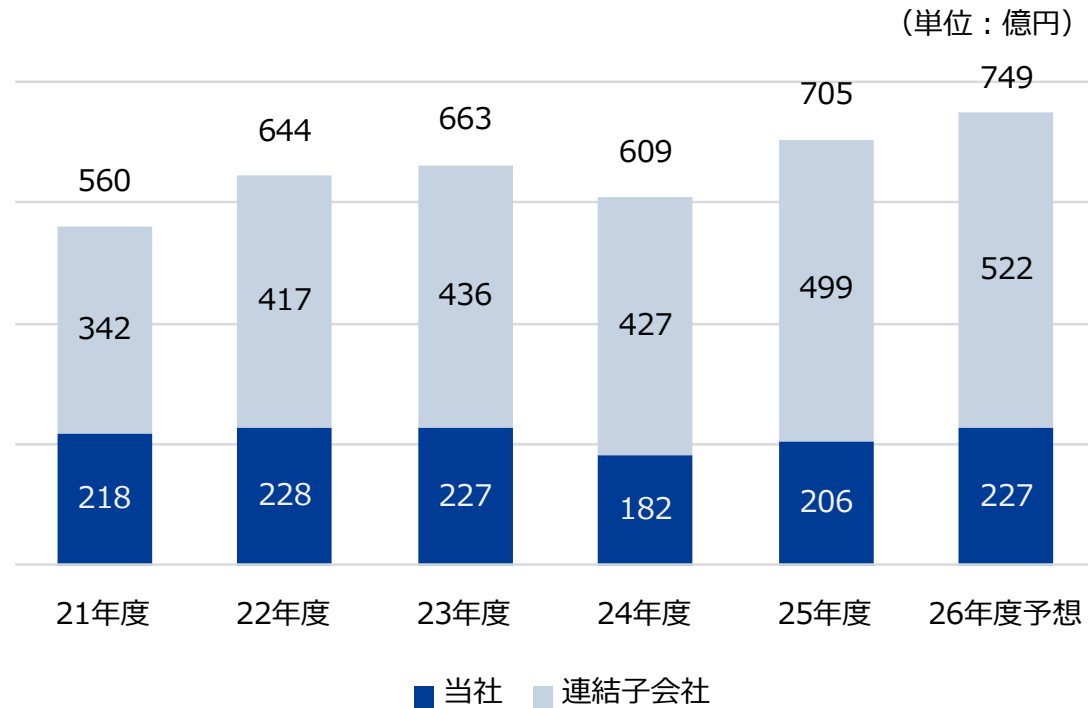
## (2) 設備投資

(単位：億円)



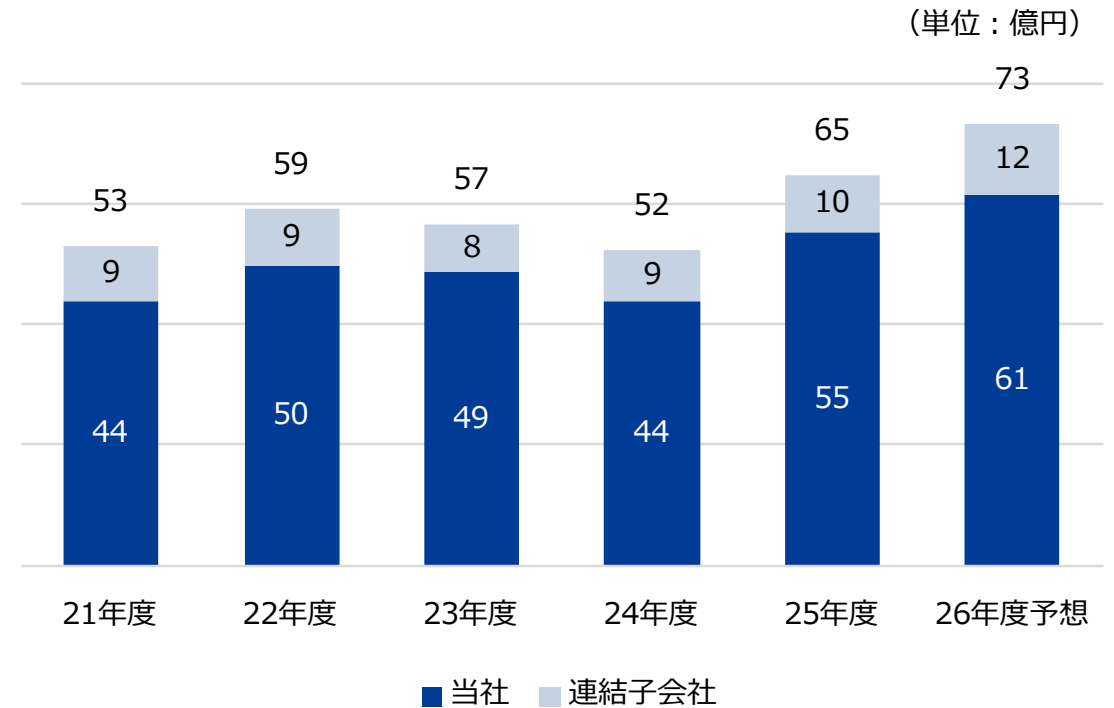
# 推移データ

## (3) 減価償却費



※2024年度より償却方法変更（定率法→定額法）

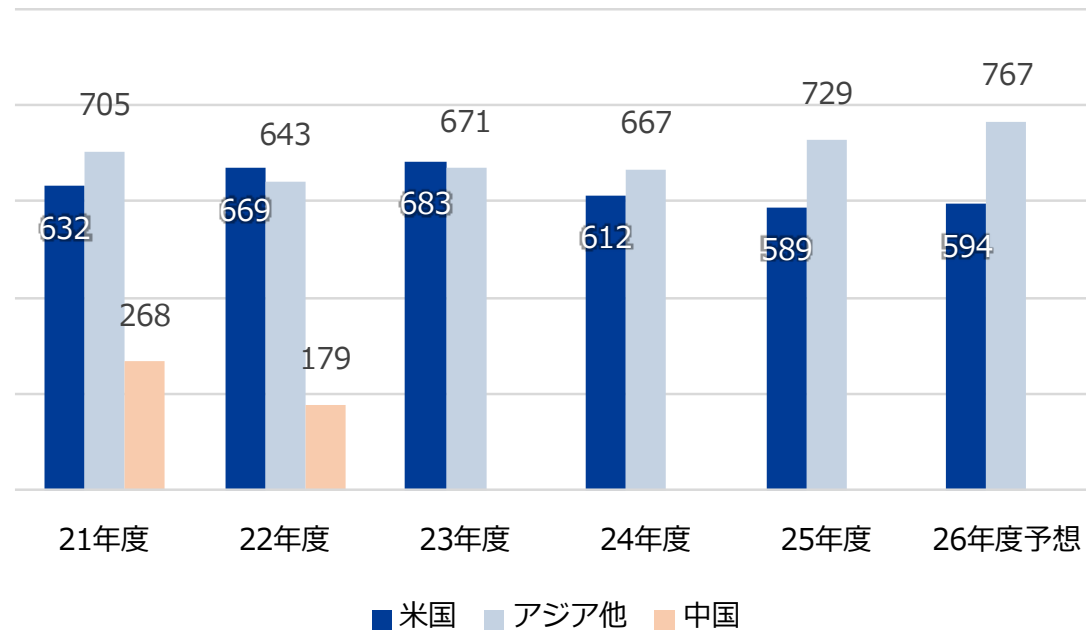
## (4) 研究開発費



# 推移データ

## (5) 海外子会社セメント販売数量 (連結子会社単純合算)

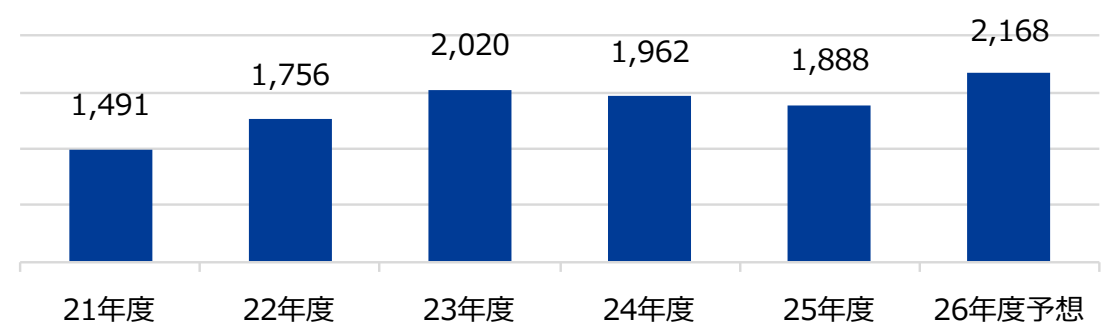
(単位：万t)



## (6) 米国事業

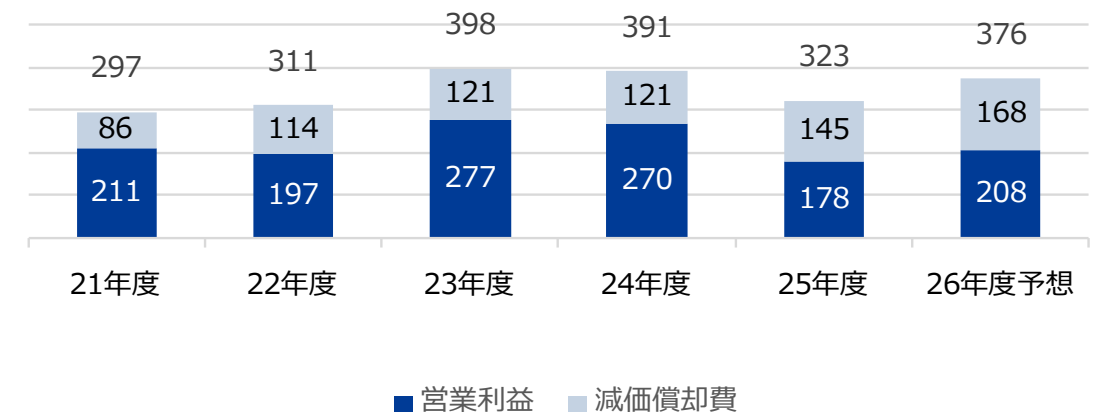
売上高

(単位：百万US\$)



営業利益・EBITDA

(単位：百万US\$)



# 2026年度 第2四半期 業績予想

## (1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2025年度 第2四半期実績	2026年度 第2四半期予想	増減
売上高	4,381	<b>4,700</b>	+319
営業利益	329	<b>270</b>	▲59
経常利益	329	<b>255</b>	▲74
親会社株主に帰属する中間純利益	245	<b>140</b>	▲105

# 2026年度 第2四半期 業績予想

## (2) セグメント情報

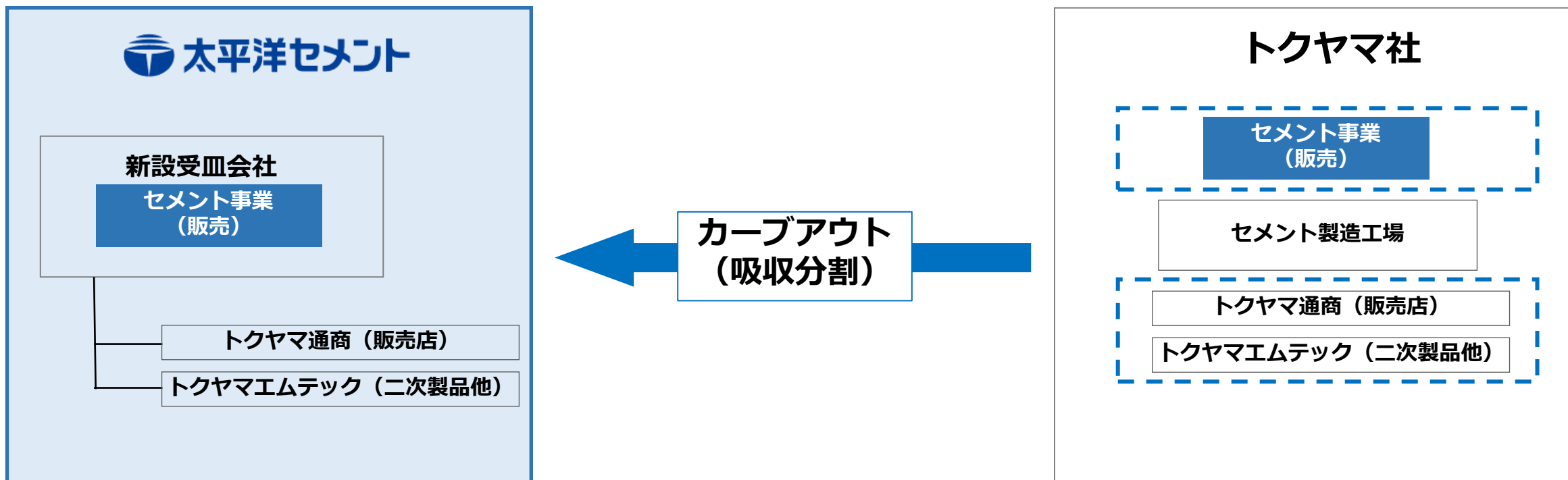
(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2025年度 第2四半期 実績	2026年度 第2四半期 予想	増減	2025年度 第2四半期 実績	2026年度 第2四半期 予想	増減
セメント	国内	1,626	<b>1,700</b>	+74	113	<b>52</b>	▲61
	海外子会社等	1,641	<b>1,750</b>	+109	99	<b>110</b>	+11
	計	3,267	<b>3,450</b>	+183	212	<b>162</b>	▲50
資源		453	<b>480</b>	+27	52	<b>51</b>	▲1
環境		399	<b>440</b>	+41	45	<b>47</b>	+2
建材・建築土木		215	<b>230</b>	+15	9	<b>7</b>	▲2
その他		355	<b>430</b>	+75	11	<b>4</b>	▲7
計		4,689	<b>5,030</b>	+341	329	<b>271</b>	▲58
内部消去		▲307	<b>▲330</b>	▲23	▲1	<b>▲1</b>	▲0
連結		4,381	<b>4,700</b>	+319	329	<b>270</b>	▲59

# 《参考》 トクヤマ社セメント営業権の取得

## トクヤマ社セメント営業権の取得～国内成長投資の着実な実行～

### 営業権取得のストラクチャー



- ・ トクヤマ社が運営するセメント事業の内、セメント販売事業を当社が取得
- ・ 対象事業を受皿会社にカーブアウトし、受皿会社の株式を当社がトクヤマ社より譲受

# 《参考》 生コン事業用資産買収と大型設備投資による事業拡大

今回の投資案件は、「26中計」で掲げる米国事業の成長戦略に沿った取り組みであり、生コン事業のM&Aによる事業拡大・サプライチェーンの強化を目的としています。

## 【①生コン事業用資産買収の概要】

買収目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生コン事業の拡大</li> <li>・セメント安定供給先の確保</li> <li>・スラグ・フライアッシュ等セメンティシヤスマテリアル（SCMs）の安定供給先確保</li> </ul>
買収金額	712百万ドル
買収時期	2026年上半期中 関係当局によるクリアランス等の前提条件が満たされることが要件
買収資産の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①北CAに所在する生コン工場28拠点、ターミナル2拠点 等</li> <li>②南CAに所在する生コン工場13拠点 等</li> </ul>
買収効果（26年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生コン販売数量 24年実績 548万cyから、824万cyに増加見込み</li> <li>②対象事業の24年度における売上高 524百万ドル</li> </ul>

## 【②近年の主な買収および大型設備投資】

2024年	グライムス採石場・ステート生コン ・貴重な資源である骨材ソースおよびセメントの安定供給先確保
2025年	<b>生コンクリート事業用資産等買収（本件）</b> <b>・西海岸全域で生コン事業を展開</b>
2026年（予定）	ストックトンターミナルサイロ増設 ・サプライチェーンの強化、混合セメント、SCMs等の需要拡大に対応



グライムス採石場



ストックトン・ターミナル増設工事中サイロ



Type I L(混合セメント)納入例  
17,000cyのコンクリート構造物向けに使用  
The California Science Center内(ロサンゼルス)

# 保有株式の売却

## 保有株の売却

～26中計期間～

国内上場株式

約20%※相当の売却を実行予定

～次期中計期間～

国内上場株式

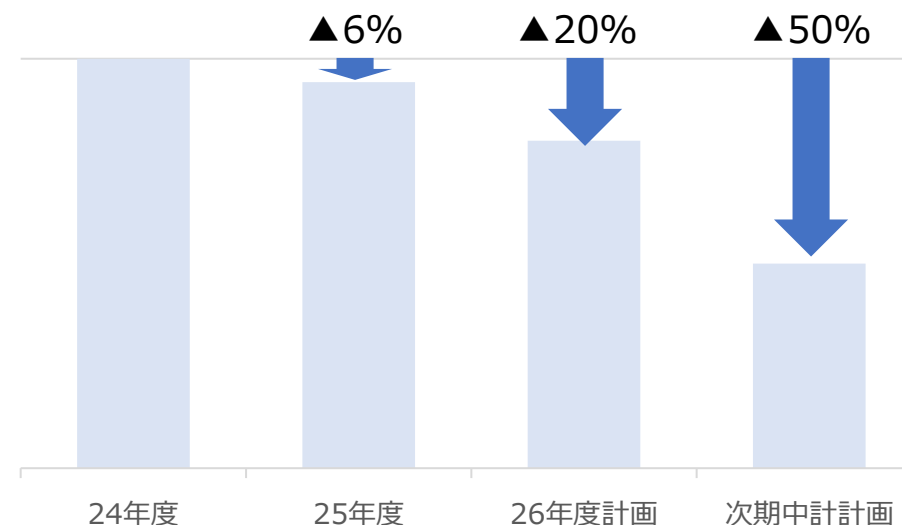
累計で約50%※相当の売却を実行予定

※簿価ベース

【25年度実績】  
エーアンドエーマテリアル他一部売却



26中計期間予定約20%のうち約6%実行



# 循環経済形成のキープレイヤー

当社グループは、カーボンニュートラルへの着実な移行を進めながら、国土強靱化のための重要資材のサプライヤーとして、また、循環経済形成のキープレイヤーとしての役割を果たしています。

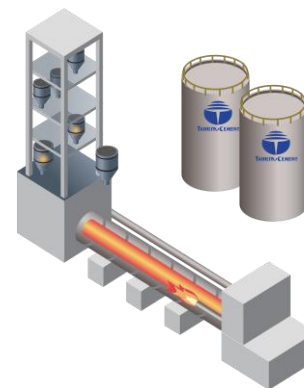
現在、わが国のセメント産業の  
廃棄物・副産物の使用量は、  
国内循環利用量の約10%に相当します。

## 廃棄物・副産物の利用

- ・石炭灰
- ・各種産業廃棄物
- ・都市ごみ
- ・上水  
など
- ・高炉スラグ
- ・建設発生土
- ・焼却残さ
- ・下水汚泥

循環経済形成の  
キープレイヤー

当社グループでは、  
地域社会や他産業で発生する  
廃棄物・副産物を  
原燃料として使用し、  
リサイクル率40%以上の  
セメントを製造



## 社会インフラ・ 生活環境整備に利用

- ・道路
- ・橋梁
- ・学校
- ・ダム
- ・地下施設  
など
- ・鉄道
- ・トンネル
- ・病院
- ・堤防
- ・港湾
- ・住宅
- ・商業ビル
- ・護岸

国土強靱化のための  
重要資材供給

2026

2030

2050

## 革新的アプローチ ~世界をリードする技術開発~

### 派生技術の早期展開

- メタン焼成
- 酸素富化燃焼

- CO<sub>2</sub>回収 (C2SPキルン®)
- CCU (メタネーション)
- CCU (炭酸塩化)
- CCS (精製・出荷技術)

## 漸進的アプローチ ~既存技術の深化&新技術の横展開~

- 混合セメント新規格化 (利用拡大)
- 新型粉砕助剤の開発

## 即効性アプローチ ~既存技術最大活用~

- 混合セメントへのシフト加速
- 化石燃料の代替促進

## 屋久島町ゼロカーボンアイランド構想への協力

## デイ・シイCNモデル工場化の推進

## 保有技術の適用、新技術開発

例) 地盤改良材、世界最高強度コンクリート等

## 即効性アプローチ ~既存技術最大活用~

- 混合材調達体制整備

## Carbon Neutral 対策

革新技術開発

既存技術：  
CO<sub>2</sub>低減

既存技術：  
CO<sub>2</sub>吸収

CNモデル事業

激甚災害対策

海外

# 外部評価

## FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



**JCR**  
[2025年A+を取得]



## Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index (GenDi J)



**R&I**  
[2025年Aを取得]



## MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2026 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

**プラチナくるみん認定**  
[2023年8月に取得]



## Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

**健康経営優良法人認定制度**  
[2023年から連続して取得]



## S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数



**人的資本経営品質2023**  
[2024年2月シルバーに選定]



**CDP**  
[気候変動でB、水でBを取得]  
[サプライヤーエンゲージメント・リーダーに選定]



# トピックス

2026年2月24日	代表取締役の異動等に関するお知らせ
2026年2月24日	当社連結子会社の持分譲渡に関するお知らせ
2026年3月9日	4年連続「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」に認定
2026年3月17日	PT Semen Indonesia (Persero) Tbk グループと地盤改良の共同事業に関する基本合意書を締結
2026年3月18日	新卒初任給等の引上げについて
2026年3月24日	連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ
2026年3月25日	株式会社トクヤマのセメント販売事業を吸収分割により承継する新設会社の株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ
2026年3月25日	保有株式の一部売却に関するお知らせ
2026年3月30日	「26中期経営計画の振り返りと今後の方針」公表に関するお知らせ
2026年5月12日	自己株式の取得および自己株式立会外買付取引（ToSTNet-3）による自己株式の買付けに関するお知らせ
2026年5月12日	セメント・セメント系固化材の価格改定について

---

本資料に記載されている将来の見通しに関する内容につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断したものであり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、記載されている将来の予想数値を当社として確約あるいは保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



**TAIHEIYO CEMENT**